

☆☆ Society of Japan Clinical Dentistry ☆☆

日本臨床歯科医学会 東京支部

2019 年度 第 1 回ステップアップミーティングのご案内

～ 『Warm up Seminar』を初開催します!! ～

初夏の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、来る 2019 年 7 月 7 日(日)に開催いたします『日本臨床歯科医学会 東京支部 第 1 回ステップアップミーティング』につきましてご連絡申し上げます。

今回のステップアップミーティングでは午後の本会において 3 名の会員の先生方に「咬合再構成」の症例を発表していただきます。

SJCD では 1 口腔単位で症例を捉えることを大切にしているため、臨床においても「咬合再構成」の必要性に迫られることがあります。そのような症例は複雑なことも多く、実践していく中で難しい局面に直面することも多々あります。

そこで、今回のステップアップミーティングでは、午後の会員発表に先立ち、午前に『**Warm up Seminar**』を開催いたします。今回の「Warm up Seminar」では「咬合再構成」を実践していくうえでの基礎的な知識を『総義歯学的考え方』・『顎関節への配慮』、それぞれの視点より日本臨床歯科医学会東京支部理事の新藤有道先生、2018 年合同例会東京支部代表の吉田茂治先生、お二方にそれぞれご講演いただきます。

「Warm up Seminar」での講演内容を基に午後の会員発表を聞いていただくことで、歯科医師のみならず衛生士も含め、より多角的に発表症例を捉えることができ、充実したディスカッションが行えることと考えております。

なお、今回も会員同士の親睦を深めるためにステップアップミーティング終了後、これまでより時間を早めて懇親会を開催します。

あわせて皆様お誘い合わせのうえご参加いただけますようお願いいたします。

日時: 2019 年 7 月 7 日(日) 10:00～16:55

(Warm up Seminar 10:00～11:30 / 本会 13:00～16:00)

懇親会 16:00～18:00

※今回より皆様に参加しやすいよう懇親会開始・終了時間が変更となっております。

受付開始: 12:30～

※午前中からの参加に関しましても受付は 12:30～となります。

場所: お茶の水ソラシティ カンファレンスセンター Room B・C

(地図別紙参照)

【タイムテーブル】

開場 9:30 ・ 開会 10:00

～ Warm up Seminar ～

- 10:00～11:30 新藤有道 先生（岩本町デンタルクリニック）
「有床義歯を臨床に有効に活用しよう！」
- 11:30～12:00 吉田茂治 先生（パークサイドデンタルオフィス）
「顎機能検査をルーティンワークに取り入れてみよう」

休憩 12:00～13:00 ・ 本会受付開始 12:30

※会場内の飲食は可能です。昼休憩時間にもぜひ賛助企業ブースにお立ち寄りください。

～ 本会 ～

- 13:00～13:05 会長挨拶
- 13:05～13:50 望月力 先生（田町芝浦歯科）
「重度歯周病患者に対してオーバーデンチャーを使用し、咬合再構成を行った症例」
（座長：李昌弘 先生）
- 13:50～14:35 根間大地 先生（ねま歯科クリニック）
「顎変形を伴う多数歯欠損に対し、インプラントと可撤性義歯を用いて咬合再構成を行った症例」
（座長：加部聡一 先生）

賛助企業ご挨拶、休憩 14:35～15:00

- 15:00～15:45 杉山達也 先生（杉山歯科医院）
「変形性顎関節症の患者に対して咬合再構成を行った症例」
（座長：中村茂人 先生）

閉会 15:45

懇親会 16:00～18:00

*今年度より東京 SJCD のホームページ「[会員ログイン](#)」の「イベント」より事前登録をお願い致します。また、当日は QR コードでの受付となりますのでご準備ください。

*東京 SJCD の会員は無料で御参加頂けます。

*一般のビジターは Dr.3 万円・Dt.1 万 5 千円・Dh.9 千円となります。（予約不要）

*会員登録は入会された本人に限り有効です。例会・分科会等への代理参加は、同じ医院にお勤めでもお受け致しかねますのでご了承ください。

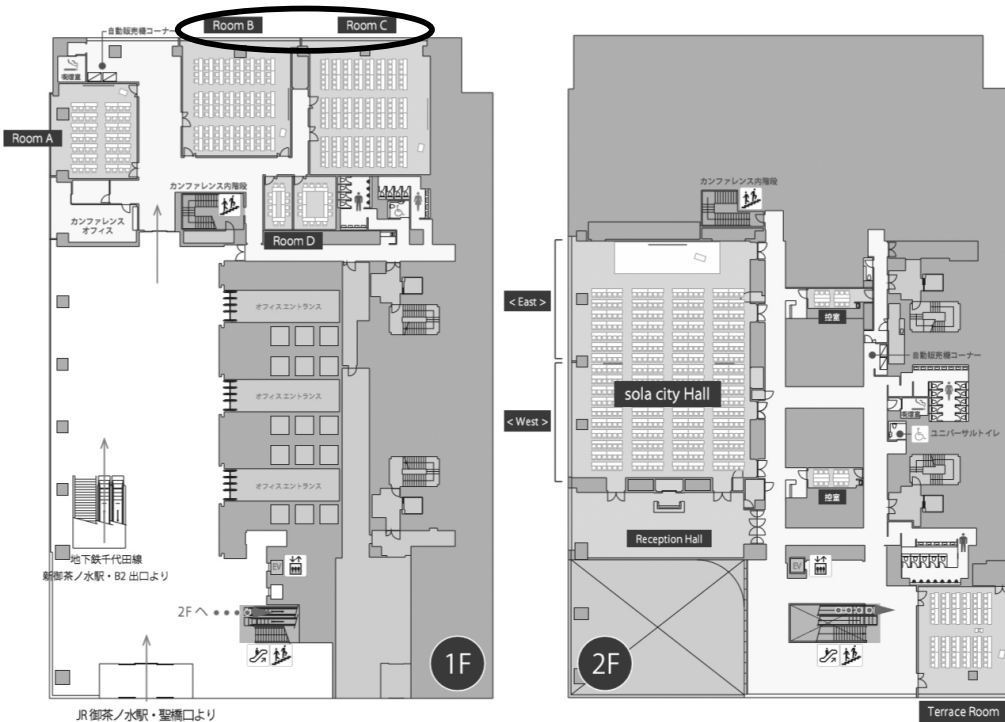
*講演中の撮影はご遠慮ください。

会場

お茶の水ソラシティ カンファレンスセンター Room B・C (<http://solacity.jp>)

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 4-6

TEL 03-6206-4855



交通案内

JRをご利用の場合

・JR中央・総武線「御茶ノ水」駅 聖橋口より、徒歩1分

地下鉄をご利用の場合

- ・東京メトロ千代田線「新御茶ノ水」駅 B2出口1直結
- ・東京メトロ丸の内線「御茶ノ水」駅 出口1より、徒歩4分
- ・都営地下鉄新宿線「小川町」駅 B3出口より、徒歩6分



Warm up Seminar

「有床義歯を臨床に有効に活用しよう！」

岩本町デンタルクリニック

新藤 有道 先生

【略歴】

1998年 日本大学松戸歯学部科 卒業

1998年 医療法人社団聖恵会 箱崎デンタルクリニック勤務

2000年 医療法人社団聖恵会 岩本町デンタルクリニック勤務

2004年 岩本町デンタルクリニック開設

【所属】

日本臨床歯科医学会 東京支部 理事・スタディーグループ赤坂会 理事・O.S.I. Study Club 副会長

Osseointegration Study Club of Japan 常任理事

【抄録】

昨今、欠損補綴における治療オプションのベストはインプラント補綴だと言われがちである。しかし患者様の状況などによりすべての症例でインプラント補綴が適応できるとは限らない。『あまり費用をかけたくない!』『治療期間を短く!』『低侵襲で!』『より美しく!』など患者様の要望も多岐にわたることが多い。場合によってはインプラント補綴以外のオプション（ブリッジ、有床義歯、歯牙移植など）の方がより良い結果が得られる症例も存在する。

また治療の過程で最終修復物とは違うオプションを暫間的に使用することもある。様々な状況に対応するには、私たちはいろいろなオプションを持ち、それぞれのやり方の特徴や適応症を理解し、適切な工程で施行することが重要になってきます。

今回は特に欠損補綴のオプションの中で、汎用性はあるが難しいとされている有床義歯にフォーカスを当て、欠損補綴を成功に導くために必要と思われる私が考えるポイントを幾つかの症例を通しお話しさせていただきたいと思います。

「顎機能検査をルーティンワークに取り入れてみよう」

パークサイドデンタルオフィス

吉田 茂治 先生

【略歴】

1999年 日本歯科大学 卒業

1999年 東京医科歯科大学歯学部附属病院 顎顔面外科 入局

2001年 東京医科歯科大学歯学部附属病院 顎関節治療部 勤務

2002年 パークサイドデンタルオフィス 開設

【所属】

日本臨床歯科医学会東京支部 会員・日本顎咬合学会認定医・日本歯科審美学会認定医

日本顎関節学会会員・日本睡眠学会 会員・日本睡眠歯科学会 会員

【抄録】

審美修復やインプラントを含む保存・歯周・外科・矯正・補綴という代表的な治療技術を縦割りの知識として個別に学ぶのではなく、これらを連携させ一口腔単位を総合的に捉えたケースプレゼンテーションから学べるところが本学会の魅力のひとつであろう。複雑な咬合再構成であっても、治療後のメンテナンスであっても、現状を把握し未来を予測するために欠かすことができないのが診査・診断であり、その意義を歯科医師、歯科技工士、歯科衛生士の間で共有することが重要であると考えている。

今回は基本的な診査のなかでも一見難解に思われがちな顎機能検査にフォーカスを当てるが、複雑な機器を使わずに日常的に取り組める分野を解説したい。明日からの臨床のお役に立つことができれば幸いである。

本会

「重度歯周病患者にオーバーデンチャーを使用し、咬合再構成を行った症例」

田町芝浦歯科 望月 力 先生

【略歴】2010年 日本大学歯学部卒業

2010年 日本大学歯学部研修診療部 入局

2011年 箱崎デンタルクリニック 勤務

2016年 田町芝浦歯科 開院

【所属】日本臨床歯科医学会会員（東京 SJCD）・スタディーグループ赤坂会・日本顎咬合学会

【抄録】

近年、デジタルデンティストリーの話題がとても盛んである。私はデジタルで全ての治療を行うことはまだ難しい現状であるが、部分的にデジタルを活用することによって治療効率や正確性が上がったと実感する。

今回重度歯周病患者に対して、上顎はインプラントオーバーデンチャーにより最小限の侵襲での安定した咬合の確立を行った。その際、模型とワックスアップのダブルスキャン、CTと重ね合わせして、3Dプリンターにより外科用ステントを作成することで正確で素早いインプラントのオペが可能であった。また下顎の残存歯に対しては歯周外科を行い、できる限り歯を保存する治療を行った。本ケースも様々な学びがあったので報告したい。

「顎変形を伴う多数歯欠損に対し、インプラントと可撤性義歯を用いて咬合再構成を行った症例」

ねま歯科クリニック 根間 大地 先生

【略歴】2010年 日本大学歯学部卒業

2011年 東京都港区 寺西歯科医院 研修生

2011年 東京都練馬区 さくら歯科クリニック 勤務

2015年 東京都千代田区 岩本町デンタルクリニック 非常勤

2018年 東京都三鷹市 ねま歯科クリニック 開院

【所属】日本臨床歯科医学会・スタディーグループ 赤坂会・日本顎咬合学会・日本補綴歯科学会・

日本口腔インプラント学会・OJ 正会員

【抄録】

多数歯欠損や咬合崩壊を引き起こす要因は多岐にわたりますが、その中でも元々の骨格的要因に加え、欠損の放置や治療の不手際により経年的な歯牙の位置異常や顎位の変位を起し、咬合崩壊へと向かっていく症例は日常臨床でもよく遭遇すると同時にその改善や長期に安定させることの難しさに悩むことは多くあるかと思われま

す。今回は、骨格の不調和により徐々に臼歯咬合支持域を失い、咬合平面の乱れや下顎前歯の挺出に伴う上顎前歯部の突き上げにより歯牙破折を呈し、すれ違い咬合に移行する寸前の咬合崩壊患者に対し、インプラントと可撤性義歯を用いて咬合再構成を行った症例を供覧し、ディスカッションしていきたいと思

「変形性顎関節症の患者に対して咬合再構成を行った症例」

杉山歯科医院 杉山 達也 先生

【略歴】2008年 新潟大学歯学部卒業

2008年 新潟大学医歯学総合病院歯科総合診療室 研修

2009年 医療法人同仁会 ワタナベ歯科医院 勤務

2013年 医療法人聖功会 ノブデンタルオフィス診療所 勤務

2015年 医療法人 杉山歯科医院 勤務

【所属】日本臨床歯科医学会東京支部会員・日本歯周病学会会員・顎咬合学会会員・KIM 会員

【抄録】

患者は63歳、女性、H27年4月に担当となった。患者は10年以上顎関節の痛みと開口障害に悩み、歯科医院を数軒 転医を繰り返していた。磁気共鳴画像診断により変形性の顎関節症と非復位性の円板転位と診断された。スタビライゼーションスプリントによって疼痛と開口障害は改善したが、大白歯でのみ咬合接触し小白歯より前方は開咬状態であったため咬合再構成が必要と判断された。長期間のプロビジョナルによって咬合の安定を図り、神経筋機構の調和が取れるように工夫して補綴物を製作した。最終補綴に移行して1年経っているが特に顎関節の症状は無く、良好に経過しているので症例報告させていただきます。